週間天気予報解説資料

2025年10月21日10時00分発表
気象庁

予報期間　10月22日から10月28日まで

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 24日から25日にかけて、大陸の高気圧が移動性となって日本海から千島の東へ移動する。前線が日本の南から沖縄付近にのびる。
- 26日は、前線上に発生した低気圧が日本の東へ進み、別の低気圧が北日本付近を通過する。
- 27日は、低気圧が発達しながらオホーツク海に進む。大陸の高気圧が日本付近に張り出し、西高東低の気圧配置となる。
- 28日は、発達した低気圧がオホーツク海をゆっくり進み、大陸の高気圧が移動性となって朝鮮半島付近に移動する。

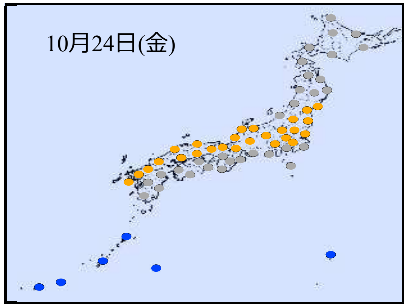
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

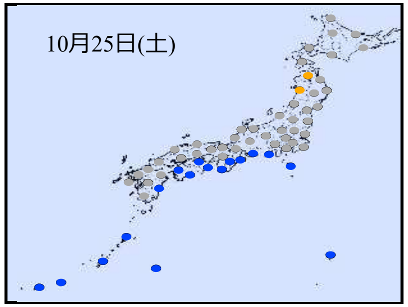
- 24日にかけて、停滞する前線の影響で沖縄・奄美では大雨となる所があり、前線の活動の程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。

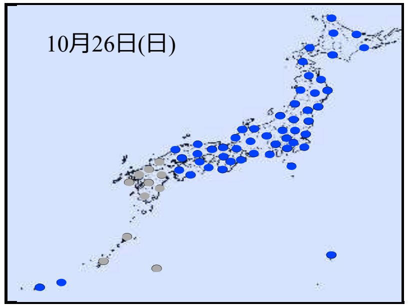
※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

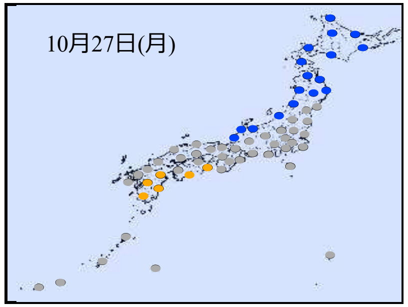
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

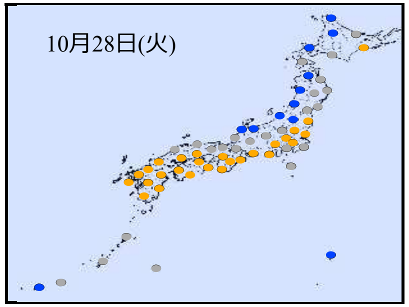
◆10時時点の３～７日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)









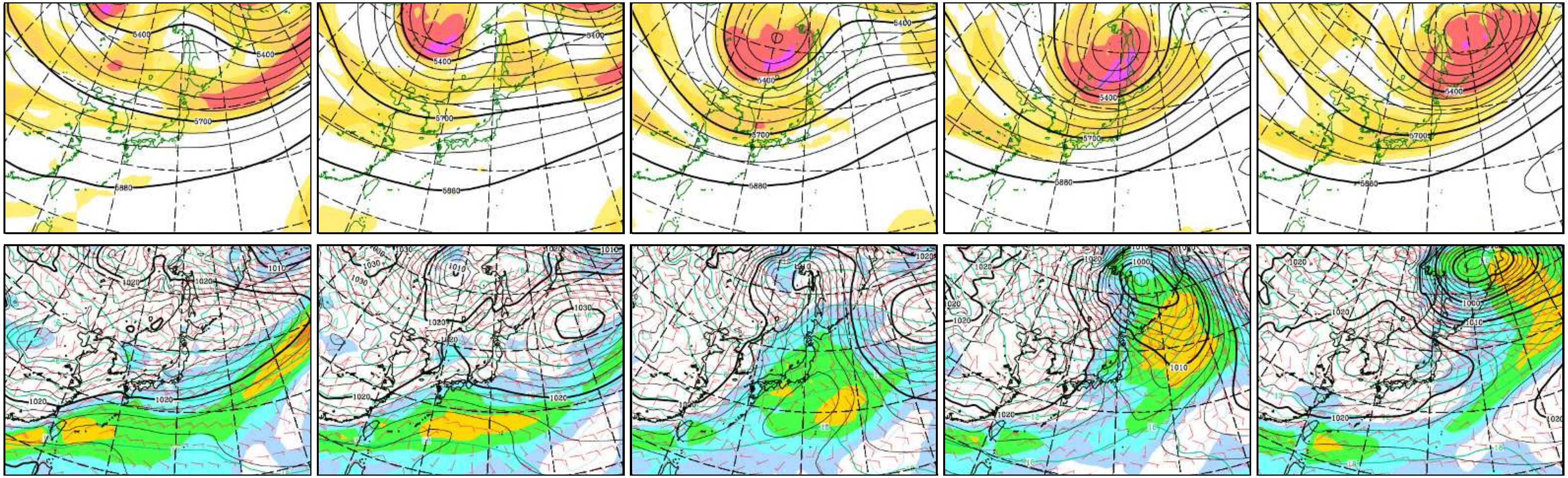


天気　晴　曇り　雨　雪

- 北日本は、雲が広がりやすく、26日から28日は雨または雪の降る所がある。
- 東日本は、太平洋側は25日と26日に曇りや雨となる他は、晴れまたは曇りとなる。日本海側は、24日は晴れる所が多いが、25日から28日にかけては曇りや雨となる。
- 西日本は、晴れまたは曇りの日が多いが、25日と26日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

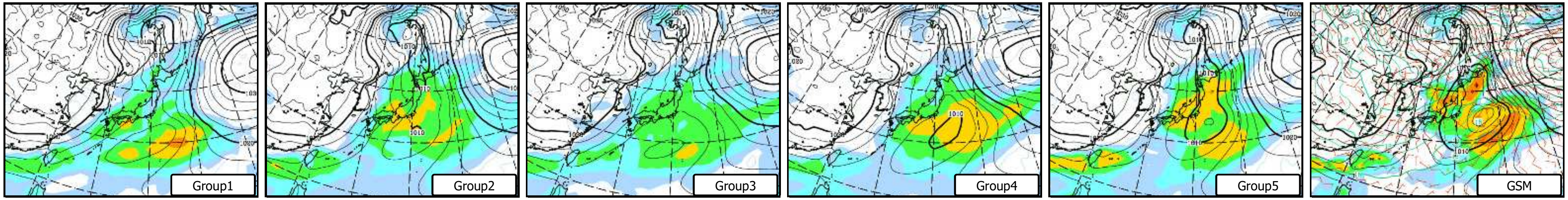
◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)

10月24日(金)　10月25日(土)　10月26日(日)　10月27日(月)　10月28日(火)



渦度(10^{-6}/sec以上) 0 10 20 40 80 100　風速 10KT 50KT　降水量(mm/24hours以上) 2 4 8 16 32 64

◆10月26日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図　海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



風速 10KT 50KT　降水量(mm/24hours以上) 2 4 8 16 32 64

◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料（ENS）は、27日に日本海北部に進むトラフはやや深くなり、進みが早くなった。地上の気圧配置の予想は、27日はオホーツク海で低気圧が発達する予想になった。
- 26日以降は、大陸を進む寒冷渦や渦を回るトラフの予想に各モデルともに初期値変わりがあるが、昨日と比べてモデル間の差は小さくなった。
- 26日の日本付近の気圧配置については、各モデルともに日本の東と三陸沖付近に低気圧が進む予想になった。ENSも同様の予想をするメンバーが多い。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。